

令和7年度 緑中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

令和7年度 全国学力学習状況調査

<国語>

・本校の平均正答率の全国比は、(1. 01)であった。領域別の平均正答率の全国比は、「話すこと・聞くこと」は(0. 95)、「書くこと」は(1. 05)、「読むこと」は(1. 04)であった。

<数学>

・本校の平均正答率の全国比は、(0. 97)であった。領域別の平均正答率の全国比は、「数と式」は(1. 02)、「図形」は(1. 01)、「関数」は(0. 91)であった。

【今後に向けて】

国語と数学は、すべての教科の学習の中で基本となる教科である。国語と数学の分析を行うことは、結果的にはすべての教科の学力向上につながるものであると考えている。今回の全国学力・学習状況調査の国語と数学の記述問題を解答するには、「読み解力」「思考力」「表現力」が必要とされる。ここで、それぞれの力は、次のような内容で説明される。

「読み解力」…問題の意味を理解する。

「思考力」…自分の考えをもつ。

「表現力」…条件に合わせ、自分の考えを正しく伝わるように書く。

<国語>

土台となる知識・技能(語彙力・文法事項等)の定着をはかるため、日ごろの授業で資料を読んでまとめたり、自分の考えを書いたりするような取り組みを行うことを目指す。

<数学>

土台となる知識・技能(基礎的な概念や原理・法則、数学的な表現・処理等)の定着をはかるため、日ごろの授業で、問題場面を捉え、数学的表現を用いて、自分の考えを書くことを目指す。

また、総合的な学習の時間を中心に課題解決学習を展開し、「話し合い活動」「表現活動」を充実させ、「読み解力」「思考力」「表現力」をつける。課題解決学習の取り組みにおいて培った「答えのない課題に対して、粘り強くあきらめない態度」は、「難しい課題にチャレンジする態度」につながる。このことは今後、無回答率の低さに現れることが期待される。